

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動、商談会等への参加、キーパーソン招聘				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	5,500	順調	「沖縄MICE振興戦略」に基づく具体的施策の効果を検証し、今後のMICE施策推進の方向性や受入の取組を進める際の基礎資料とするため、県内におけるMICE開催実態の調査を実施した。 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 MICEの受入可能性のある施設を有する企業・団体に対してMICE開催実態のアンケート調査を行った。回答率の低い離島地域においては直接事業者を訪問し協力を依頼するなど、回答率向上に向けた取組も順調に実施できた。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
・産学官で構成するMICE推進の中核組織である沖縄MICEネットワークなどの枠組みを活用し、県が実施する調査事業への理解を深めてもらうとともに、引き続き事業者負担を減らす方向での検討を行う。						・沖縄MICEネットワークを活用するとともに、回答率の低い離島地域の施設に対しては、直接事業者を訪問し回答率の向上と調査事業への理解を促した。事業者が回答しやすい調査手法は引き続き検討する必要がある。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ MICEのうち、特にM, I, Eについては、実態の把握が難しく、本県のように定期的に調査を実施している地域は他にない。

○外部環境の変化

・ 新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、引き続きMICE開催件数は減になる見込み。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 産学官で構成するMICE推進の中核組織である沖縄MICEネットワークなどの枠組みを活用し、特に主要な施設に対しては直接事業者を訪問し調査協力を依頼するなど、県が実施する調査事業への理解を深め、回答率の向上を図るとともに、引き続き事業者負担を減らす方向での検討を行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 産学官で構成するMICE推進の中核組織である沖縄MICEネットワークなどの枠組みを活用し、特に主要な施設に対しては直接事業者を訪問し調査協力を依頼するなど、県が実施する調査事業への理解を深め、回答率の向上を図るとともに、事業者からの聞き取りを踏まえ、引き続き調査票作成の負担を減らす方向での検討を行う。

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE関係団体、MICE専門商談会における情報収				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	4,259	順調	国内・海外において開催されたオンライン商談会・セミナー等に出展し、プロモーション及び各市場の主催者ニーズの把握を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<p>・オンラインによるセミナーの開催等を継続していく。また、COVID-19の流行状況を把握し、収束傾向にある場合は、リアルでの面談やセミナー等の開催を行っていく。</p>						<p>・オンラインでMICEセミナーを開催を継続するとともに、感染症対策を施した営業活動を行った。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・オンラインの活用など、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえた開催方法のノウハウが集まり、定着化が図られてきた。

○外部環境の変化

・国内外において新型コロナウイルス感染症の流行は未だに収束を見せていない。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・オンラインの活用は引き続き必要。一方で、リアルでの商談会等の開催もタイミングによっては必要。

4 取組の改善案 (Action)

・オンラインによる商談会への出展やセミナーへの参加を継続していく。また、新型コロナウイルス感染症の流行状況を把握し、収束傾向にある場合は感染対策を徹底した上でリアルでの商談会への出展やセミナーに参加する。

様式1(主な取組)

活動指標名	継続的なブランドプロモーションの展開				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	31,053	順調	オンラインでも活用できる沖縄MICEブランドエッセンスを加味したプロモーション動画等を作成し、沖縄MICEのブランドイメージを各種イベントやメディア等を活用して発信した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										オンラインでも活用できる沖縄MICEブランドエッセンスを加味したプロモーション動画等を作成し、沖縄MICEのブランドイメージを各種イベントやメディア等を活用して発信した。MICE開催地としての沖縄の認知度向上に向けて順調に取組を進めている。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> オープンエアーでのMICE開催が可能である点をPRし、非日常的空間であるという沖縄MICEをPRする必要がある。 						<ul style="list-style-type: none"> オンラインも活用し各種イベントやメディアを活用して広報活動を実施しており、MICE開催地としての沖縄の認知度向上に向けてPRした。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ブランドを定着させるには、沖縄県、OCVB、県内MICEの中核機関である産学官の連携組織である沖縄MICEネットワーク、県内MICE産業企業等MICEに携わる全ての関係者がブランドを理解し、発信し続ける必要がある。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の影響で、コンベンションなどはオンライン、ハイブリッド開催が主流となっている。一方で、リアル会合の重要性がクローズアップされつつあるところ。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・オープンエアーでの開催など、沖縄の魅力や優位性を活かしたMICE開催が可能である点をPRし、ブランドの認知度向上を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・オープンエアーでの開催など、沖縄の魅力や優位性を活かしたMICE開催が可能である点をPRし、ブランドの更なる認知度向上を図る。

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動、商談会等への参加、キーパーソン招聘				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	-	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	149,266	順調	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、オンラインを活用した商談会等を開催し、県内事業者とバイヤーとのマッチングを図った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な開催地としてPRを行い、短期的にMICE需要を回復できると思われる、インセンティブの誘致につなげていく。 						<ul style="list-style-type: none"> インセンティブ旅行の誘致を促進するため、安全・安心な開催地としてのPRを行った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・コロナ禍においても、安全・安心なMICE開催が可能であることを示すことはできた。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の流行状況は未だ続いている。一方で、これまで海外で開催されていたインセンティブ旅行が国内開催にシフトし始めており、沖縄を候補地として検討している主催者が増加傾向にある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・これまで海外でインセンティブ旅行を実施していた主催者のニーズを捉え、沖縄に積極的に誘致する。

4 取組の改善案 (Action)

・安全・安心な開催地として、また沖縄の優位性を生かしたPRを行いインセンティブの誘致につなげていく。

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等への誘致活動、商談会等への参加、大学による誘致活動支援				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	149,266	順調	新型コロナウイルス感染症の影響があり、キーパーソンに直接会うことは難しかったが、次年度以降開催予定の学会について、リアル開催につながるようオンライン等を活用し営業活動を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 新型コロナウイルス感染症の影響がある中、活動が難しかったが、現時点で次年度開催予定の学会でキャンセル等の予定はなく、順調である。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
・ COVID-19の流行状況を把握しつつ、ITも活用した分散開催などの提案をおこなうための営業ツールを作る。						・ 引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行状況を把握しつつ、デジタル技術を活用した分散開催など新たなMICE開催のあり方を検討する必要がある。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じた入場制限など、コンベンション開催のあり方が変わってきている。

○外部環境の変化

・地方都市でのMICE施設の建設が相次いでおり、国内外問わず都市間の誘致競争が年々激しさを増している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・新しい生活様式に即したあらたなMICE開催のあり方を検討し、全県的なMICE受入体制の構築刷る必要がある、

4 取組の改善案 (Action)

・全県的なMICE受入体制の構築に向けて、新型コロナウイルス感染症の流行状況を把握しつつ、デジタル技術を活用した分散開催など新たなMICE開催のあり方を検討する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	大型MICE施設の整備			
対応する主な課題	②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する。						
実施主体	県、事業者					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課		【098-866-2077】			
		設計・工事・開業準備に向けた取組		新計画のための調査検討 新たな整備基本計画の策定		

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	マリンタウンMICEエリア形成事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	—	—	—	37,755	35,341	38,238	県単等	OR3年度： マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行った。 OR4年度： 策定した基本計画を基に、民間事業者へのサウンディング調査等を実施のうえ、実施方針等の作成に向けた検討を行う。
予算事業名	大型MICE受入環境整備事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	68,982	14,621	26,323	91,524	—	—		OR3年度： R2年度で事業終了 OR4年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	新計画のための調査検討 新たな整備基本計画の策定				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	35,341	順調	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の感染状況や、不動産市況、資材単価等の状況を注視する必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況や、不動産市況、資材単価等の状況を注視しつつ、基本計画に基づく実施方針等の作成の検討を実施する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況や、不動産市況、資材単価等の状況を注視しつつ、基本計画に基づく実施方針等の作成の検討を実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全体的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	大型MICE施設周辺の受入環境の整備			
対応する主な課題	②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
大型MICE施設の整備にあたり、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地に取り組む。						
実施主体	県、市町村					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課		【098-866-2077】		マリントウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整及び実施	

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	マリントウンMICEエリア形成事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
	主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源
県単等	委託	-	-	-	37,755	35,341	38,238	県単等	OR3年度：マリントウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行った。 OR4年度：策定した基本計画案を元に、民間企業へのサウンディング調査や実施方針などの作成に向けた検討を行う。
予算事業名	大型MICE受入環境整備事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
	主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源
県単等	委託	68,982	14,621	26,323	91,524	-	-		OR3年度：R2年度で事業終了 OR4年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整及び実施				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	35,341	順調	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行うとともに、大型MICEエリア振興に関する協議会及び作業部会を開催した。
活動指標名					R3年度					
実績値										
活動指標名					R3年度					
実績値										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
実績値										新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、R3年度に予定したマリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行うとともに、大型MICEエリア振興に関する協議会及び作業部会を開催した。
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。 						<ul style="list-style-type: none"> マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえつつ、基本計画案に基づく検討業務を継続する必要がある。

○外部環境の変化

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響 (MICEや不動産マーケットの動向等) を見極める必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画案に基づく検討業務を継続する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画案に基づく検討業務を継続する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	観光地形成促進地域制度の活用促進			
対応する主な課題	②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
高い国際競争力を有する魅力ある観光地形成を図るため、沖縄振興特別措置法に基づいた観光地形成促進地域制度を活用し、国内外からの観光旅客に対応した観光関連施設の整備を促進する。						
実施主体	県	県内外の投資会社への誘致活動、税制等の活用促進				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)	
予算事業名							令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
観光地形成促進地域推進事業							OR3年度： 「沖縄特区・地域税制ワンストップ相談窓口」との連携、市町村や県内宿泊施設及び民間観光施設に対して制度周知や調査による情報収集活動を行った。	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度 当初予算額	主な財源
県単等	委託	2,457	2,893	5,549	3,966	2,046	5,378	県単等
							OR4年度： 活用促進に向けてワンストップ相談窓口や市町村、関係団体、税理士会等との連携を図り、設備投資情報の収集やセミナー開催等の周知活動を実施する。	
予算事業名							令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度 当初予算額	主な財源
							OR3年度：	
							OR4年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	県内外の投資会社への誘致活動、税制等の活用促進				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	2,046	順調	ワンストップ相談窓口にて企業への制度の周知と相談対応を行ったほか、市町村や民間観光事業者・関係団体に対して制度の周知と今後の活用計画、令和4年度税制改正における要望等について調査・聞き取りし、情報収集活動を実施した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										ワンストップ窓口を設置した平成29年度以降、国税の活用実績が生じており、平成29年度1件、平成30年度2件、令和元年度3件、令和2年度1件となっている。 一方、地方税は平成29年度9件、平成30年度13件、令和元年度14件、令和2年度16件となっており、活用実績は増加傾向である。 また、令和4年度税制改正においては、市町村等からの聞き取り結果を踏まえた制度設計と要望書の提出に繋がった。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き「沖縄特区・地域税制ワンストップ相談窓口」を活用し周知活動の強化を図る。 国内外からの民間資本を活用し、魅力ある観光関連施設の整備促進を図るため、引き続き市町村や民間企業、業界団体に対し調査やヒアリング等の情報収集活動を実施する。 						<ul style="list-style-type: none"> ワンストップ相談窓口で民間観光事業者へ制度周知や相談対応を行った結果、活用実績が順調に伸びている。 市町村や民間観光事業者・業界団体に対して制度の周知と今後の活用計画、令和4年度税制改正要望等について調査・聞き取りを行い、情報収集活動も実施した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・制度活用件数を促進するため、観光関連団体等へより効果的な制度周知と活用企業の掘り起こしの方策を検討するとともに、新たな民間観光施設の整備計画の情報収集などを継続的に行う必要がある。

・令和7年度税制改正に向け、本制度の継続や措置拡充の必要性等を検討するため、市町村や民間企業、業界団体に対し調査やヒアリング等の情報収集活動を実施する必要がある。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の感染が、未だ沖縄観光に多大な影響を与えており、民間企業においては新たな観光施設の設備投資を控えるなどの動きがある。

・令和4年度税制改正により、活用企業が税制優遇措置を受けるために、新たに県知事の認定と主務大臣の確認を受ける事業認定制度が導入されている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・新型コロナウイルス感染症の影響からの早期回復と持続可能な観光産業の振興に向けて、観光地形成促進地域制度を活用を促し、国内外からの投資を促進することが必要であり、制度の活用促進に向けて、より効果的な周知活動の方法の実施と、活用企業に対して事業認定制度のきめ細やかな説明対応をする必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・制度活用件数の促進に向けた取り組みとして、沖縄特区・地域税制ワンストップ相談窓口、市町村、関係業界、県内外の税理士会等との連携を図り、情報収集やセミナー開催などの周知活動を実施するとともに、事業者に対しては分かりやすい手引きやQ&A、パンフレットを作成し、認定申請に係る手続の負担軽減を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	沖縄コンベンションセンター管理運営事業			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
国際・国内コミュニケーションの場としてのコンベンションを誘致・推進し、本県の産業経済及び教育文化の振興に寄与するため、沖縄コンベンションセンターの管理・運営を行う。						
実施主体		MICE誘致に向けた適切な施設の管理・運営・機能強化				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課					
	県					
	【098-866-2077】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 沖縄コンベンションセンター管理運営事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	65,691	65,691	66,300	146,079	-	-	県単等	OR3年度： 沖縄コンベンションセンターを指定管理制度により適正な維持・管理を図った。 OR4年度： 沖縄コンベンションセンターを指定管理制度により適正な維持・管理を図る。
予算事業名 沖縄コンベンションセンター保全修繕事業費							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	354,411	240,338	124,329	258,069	13,417	11,447	県単等	OR3年度： 沖縄コンベンションセンターの安全性、機能性を確保するために、修繕計画に沿って工事や設計等を行った。 OR4年度： 沖縄コンベンションセンターの安全性、機能性を確保するために修繕計画に沿って工事や設計等を行う。

様式1(主な取組)

予算事業名 県有MICE施設長寿命化事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画		
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 沖縄コンベンションセンターの安全性、機能性を確保するために、個別施設計画に沿って、受変電設備更新工事等を行った。		
県単等	直接実施	—	—	—	—	358,560	144,672	県単等	OR4年度： 沖縄コンベンションセンターの安全性、機能性を確保するために、個別施設計画に沿って、引き続き受変電設備更新工事等を行う。		
活動指標名	MICE誘致に向けた適切な施設の管理・運営・機能強化				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			371,977	順調
活動指標名					R3年度			実績値	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果		
H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	新型コロナウイルス感染症の影響により例年より催事件数は減少したが、指定管理制度により適正な管理・運営を行った結果、本施設を利用した県内外の会議を開催することが出来た。				
活動指標名					R3年度			実績値	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果		
H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B					

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和3年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none">・令和2年度に引き続き、沖縄コンベンションセンターの修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。・令和2年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期(3年~5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。・新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインなど、感染症対策を前提とした施設利用を周知していく。	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度は、修繕計画に基づき工事や設計業務を行った。・指定管理者において引き続き誘致活動を行ったことから、中長期的なMICE誘致を進めることができた。・指定管理者による新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインの周知など、感染拡大防止策をとりながら催事を開催する環境を整えた。



3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・建物の築年数が30年を超過し、施設の老朽化が激しくなっている状況にあり、急な破損により建物使用不可になることは、MICE誘致等の活動にも影響がでる恐れがある。
- ・MICE誘致を促進するためには、指定管理者の営業力・対応力を強化する必要がある。

○外部環境の変化

- ・MICE施設という特性上、多数の人が集まる催事については、新型コロナウイルスによる催事のキャンセル等が発生している。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・安全かつ快適で、魅力あるコンベンション施設としての機能維持を図り、MICE誘致等の活動を円滑に進めるため、施設の老朽化の状況を把握し、計画的な修繕を行う必要がある。
- ・国際会議や大規模なMICEは、企画段階から実施まで、2、3年の期間を要することが多い。また、会場が決定した後は、準備から終了まで主催者と綿密な調整・連絡が必要となる。よって、MICEの誘致においては、主催者と初期接触からイベント終了まで、一括して対応できる体制を整えることが重要である。
- ・新型コロナウイルス感染症による影響を注視し、今後はタイミングを見ながら効果的なプロモーションをしていく必要がある。



4 取組の改善案 (Action)

- ・令和3年度に引き続き、沖縄コンベンションセンターの修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。
- ・令和3年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期(3年~5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインなど、感染症対策を前提とした施設利用を周知していく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE施設の機能強化
主な取組	万国津梁館管理運営事業			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくこと			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
万国津梁館を指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。						
		MICE誘致に向けた適正な施設の管理・運営・機能強化				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)		
予算事業名 万国津梁館管理運営費									
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
							当初予算額	主な財源	
県単等	委託	65,633	65,633	29,916	47,889	29,916	県単等		OR3年度：万国津梁館を指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図った。 OR4年度：万国津梁館を指定管理制度により適正な維持・管理を行い、MICE等の誘致促進を図る。
予算事業名 万国津梁館保全修繕事業費									
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
							当初予算額	主な財源	
県単等	直接実施	72,789	85,753	73,463	75,586	40,845	42,188	県単等	OR3年度：万国津梁館の安全性や機能性確保に係る工事を行った。また、立地する部瀬名岬の共用部等の管理を行った。 OR4年度：万国津梁館の安全性や機能性確保に係る工事を行った。また、立地する部瀬名岬の共用部等の管理を行う。

様式1(主な取組)

予算事業名 県有MICE施設長寿命化事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
県単等	直接実施	—	—	—	—	358,560	144,672	県単等	OR3年度：万国津梁館の安全性、機能性を確保するために、個別施設計画に沿って、エレベーターロープ取替修繕等を行った。 OR4年度：万国津梁館の安全性、機能性を確保するために、個別施設計画に沿った修繕を行う。	
活動指標名	MICE誘致に向けた適正な施設の管理・運営・機能強化				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	429,321	順調	国内外の優れたMICEの誘致と、安心・安全な施設の利用環境を維持するため、指定管理制度を活用し適切な管理・運営を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果										
新型コロナウイルス感染症の影響により例年より催事件数は減少したが、指定管理制度により適正な管理・運営を行った結果、本施設を利用した国内外の会議を開催することが出来た。										

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和3年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none">・令和2年度に引き続き、万国津梁館の修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。・令和2年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期(3年～5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。・新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインなど、感染症対策を前提とした施設利用を周知していく。	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度は、修繕計画に沿った工事を行った。・指定管理者において引き続き誘致活動を行ったことから、中長期的なMICE誘致を進めることができた。・指定管理者による新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインの周知など、感染拡大防止策をとりながら催事を開催する環境を整えた。



3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)	
<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none">・建築から20年が経過し、施設等の老朽化が進んでいる状況にあり、MICE等の誘致活動に支障が出る可能性がある。・MICE誘致を促進するためには、指定管理者の営業力・対応力を強化する必要がある。	<p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・MICE施設という特性上、多数の人が集まる催事については、新型コロナウイルスによる催事のキャンセル等が発生している。
(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)	
<ul style="list-style-type: none">・安全かつ快適で、魅力あるコンベンション施設としての機能維持を図り、MICE誘致等の活動を円滑に進めるため、施設の老朽化の状況を把握し、計画的な修繕を行う必要がある。・国際会議や大規模なMICEは、企画段階から実施まで、2、3年の期間を要することが多い。また、会場が決定した後は、準備から終了まで主催者と綿密な調整・連絡が必要となる。よって、MICEの誘致においては、主催者と初期接触からイベント終了まで、一括して対応できる体制を整えることが重要である。・新型コロナウイルス感染症による影響を注視し、今後はタイミングを見ながら効果的なプロモーションをしていく必要がある。	



4 取組の改善案 (Action)

<ul style="list-style-type: none">・令和3年度に引き続き、万国津梁館の修繕計画に基づき、計画的な修繕を行い、MICE誘致等の活動を円滑に進める。・令和3年度に引き続き、指定管理者を軸とした、県、OCVBの連携により、主催者に対し一括した対応となるよう体制を整え、中長期(3年～5年)のMICE計画があるイベント等を誘致していく。・新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインなど、感染症対策を前提とした施設利用を周知していく。
--

様式1(主な取組)

活動指標名	ハシゴ道路をはじめとする幹線道路ネットワーク整備、 利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	0	順調	「大型MICEエリア振興に関する協議会」等において、大型MICE受入環境整備に向けた関係部局や地元自治体との情報共有等を行なった。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										関係部局と調整のうえ、「大型MICEエリア振興に関する協議会」等において、大型MICE施設への移動利便性向上に資する、道路整備事業の進捗状況の確認や利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた課題整理等が行なわれた。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 「大型MICEエリア振興に関する協議会」の下部組織である、県関係各課の班長を構成員とする「作業部会」において、まちづくり、交通対策、観光振興の3つのテーマで協議を行うこととしており、情報共有を図りつつ各課題について集中的に取り組む。 						<ul style="list-style-type: none"> 大型MICEエリア振興に関する協議会等において、大型MICE受入環境整備に向けた都市計画及び交通計画に係る関係部局や地元自治体と情報共有、課題整理等において、現状における整理を行なった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・大型MICE施設の機能強化に向けて、関係機関と地元自治体等地域と一体となり、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保する必要がある。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルスの感染拡大により、MICE需要にも大きな影響が出ている。そのため、収束後の社会経済が大きく変わる言わば新常態に対応した大型MICEのあり方を模索する必要があるが、催事主催者、及び参加者視点から、MICE施設への移動利便性向上については、今後も変わらず求められることを想定している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・大型MICE施設の安定的な運営(稼働率の向上)推進においては、利用者の移動利便性向上を図ることを目的として、交通アクセスの改善について取り組む必要があり、引き続き、大型MICEエリア形成にかかる協働体制の中で協議を重ねていく。

4 取組の改善案 (Action)

・「大型MICEエリア振興に関する協議会」の下部組織である、県関係各課の班長を構成員とする「作業部会」において、まちづくり、交通対策、観光振興の3つのテーマで協議を行うこととしており、情報共有を図りつつ各課題について集中的に取り組む。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE誘致・受入の体制強化
主な取組	沖縄MICEネットワークの運営・組織強化			
対応する主な課題	<p>①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。</p> <p>②これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する必要がある。また、整備にあたっては、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地が必要である。</p> <p>③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
全県的かつ産業横断的なMICE振興を図る観点から、大学、産業界、行政、各種団体が参画する沖縄MICEネットワークを設立し、部会、勉強会等を通して、県内事業者のスキルアップを図る。		設立				会員数130団体
実施主体	県、OCVB					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課	【098-866-2077】				
		部会、勉強会の開催、普及イベントの開催、主催者・誘致主体等への総合的支援				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	17,320	8,731	6,263	4,708	2,436	4,452	一括交付金(ソフト)	OR3年度： MICE勉強会、MICEの誘致・受入体制の整備に係る部会等を開催した。会員相互の情報発信と共有のためWebニュースや機関紙を発行した。 OR4年度： MICE勉強会、MICEの誘致・受入体制の整備に係る部会等を開催した。会員相互の情報発信と共有のためWebニュースや機関紙を発行する。

様式1(主な取組)

活動指標名	沖縄MICEネットワーク会員数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	150	244	275	206	221	130	100.0%	2,436	順調	県内事業者のMICEに関する知識の取得や誘致、受入に関する諸問題の解決のため、勉強会や部会を開催した。また会員相互の情報発信と共有のためWebニュースや機関紙を発行した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										県内事業者のMICEに関する知識の取得や誘致、受入に関する諸問題の解決のため、勉強会、部会を開催した。また、会員相互の情報発信と共有のためWebニュースや機関紙を発行した。沖縄MICEネットワークには現在221団体が参加しており、全県的かつ産業横断的なMICE振興が図られている。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の会費徴収を免除とする。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染状況の影響を踏まえ、令和4年度の会費は減額して徴収する。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和3年度の会費徴収を免除とした。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の感染状況の影響は令和4年度も引き続くが、同時に経済を回す方向になるとも予想される。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・新型コロナウイルス感染症の感染状況の影響が残っていると考えられるため、令和4年度は会費の徴収額を検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・新型コロナウイルス感染症の感染状況の影響が残っていると考えられるため、令和4年度は会費を減額したうえで徴収する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	② 大型MICEを核とした全県的な受入体制の整備
			施策の小項目名	OMICE誘致・受入の体制強化
主な取組	地域・住民のMICE参加の促進			
対応する主な課題	①MICEの誘致競争が年々拡大している中、海外市場における知名度の向上や、沖縄開催の魅力の創造と発信に取り組むとともに、戦略的なMICE振興を推進し、国際的なMICE開催地としてブランドを確立することが重要である。 ③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくこと			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
MICE振興の意義や地域にもたらすメリットについて住民理解を促す普及啓発活動を行うとともに、MICEによる社会的効果を創出するため、県民向け公開講座や地域・NPO等と連携した関連イベントを主催者に働きかけ、住民によるMICE参加の機会提供に努める。						
実施主体		県、OCVB				
担当部課【連絡先】		文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】				
		MICE普及イベントの開催やMICE主催者による県民向けイベントの開催促進				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)		
予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業（細事業：受入体制整備（普及イベント開催促進））								
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
							当初予算額	主な財源	
一括交付金（ソフト）	委託	17,320	8,731	6,263	1,533	11,500	—		OR3年度： R3年度開催予定の学会等において、市民講座等の開催を働きかけた。 OR4年度： R4年度開催予定の学会等において、市民講座等の開催を働きかける。
予算事業名	観光誘致対策事業（MICE推進課）								
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
							当初予算額	主な財源	
県単等	委託	17,320	8,731	6,263	1,533	3,840	300	県単等	OR3年度： 県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載した。 OR4年度： 県内紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載する。

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE普及イベントの開催やMICE主催者による 県民向けイベントの開催促進				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	2回	2回	0回	1回	4回	1回	100.0%	15,340	順調	開催予定の学会等において市民講座等の開催を働きかけ、4回開催に至った。また県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										開催予定の学会等において市民講座等の開催を働きかけ、市民講座等を4回開催した。また県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載した。これらにより住民のMICE参加の機会と気運を創出した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 県内紙へ、記事広告や沖縄MICEネットワーク等の活動について取材してもらうなど、MICE関連記事を定期的に掲載する。 						<ul style="list-style-type: none"> 県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・新型コロナウイルス感染症の影響が長引いていることから、住民の受入気運の低下が懸念される。

○外部環境の変化

・感染防止対策が全国的に進み、催事が開催され始めている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ MICE開催については安全・安心に開催できるよう主催者も注力していること、経済効果が高いことや教育的な波及効果等があることをなどを、県内等に掲載することにより県民に知ってもらう必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 県内紙等への記事広告や、県内マスコミに沖縄MICEネットワーク等の活動について取材してもらうなど、県民のMICE開催にかかる受入気運が醸成されるような広報を行う。

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE歓迎イベント、シャトルバス借り上げ支援、開催経費の負担軽減等の実施				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	15,185	順調	コンベンション主催者やインセンティブ主催者への助成、芸能団派遣等の開催歓迎支援など、MICE参加者の満足度を高めるためのサポートを実施した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
・ 2022年度以降の新たな支援策を検討する。						・ 引き続き、新たな魅力を打ち出したMICE開催支援を検討する。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・一括交付金が令和4年度以降も継続し、本事業も継続事業として存続することとなった。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症がどのような影響を及ぼすのか予測が難しい。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・新型コロナウイルス感染症がどのような影響を及ぼすのか予測するのは難しいものの、リアル開催に向けた動きもでてきているため、引き続き支援策を検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・アフターコロナにおいても、主催者の沖縄MICE開催の満足度が向上するように引き続き支援していく必要がある。

様式1(主な取組)

活動指標名	ユニークベニュー、体験プログラム、MICE限定商品、サービスの開発促進				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要			
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B						
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	16,097	順調	MICE開催及び受入におけるサステナビリティガイドラインを作成し、民間企業による持続可能なMICEコンテンツの開発を促進した。			
活動指標名					R3年度					実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度									
活動指標名					R3年度			実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度									
(2)これまでの改善案の反映状況													
令和3年度の取組改善案						反映状況							
<ul style="list-style-type: none"> SDGs をとりこんだMICE受入のためのガイドラインを作成する。 						<ul style="list-style-type: none"> 沖縄MICE開催のためのサステナビリティガイドラインを作成した。 							



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 新たな沖縄振興計画においては、SDGs の概念も織り込んだものとしている。

○外部環境の変化

- ・ MICEにSDGs を取り込む動きは、他県でも増えている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 沖縄でMICEが開催されるために、県内の感染症対策を適切に発信し安全・安心な沖縄MICEの構築を図る必要がある。
- ・ 都市間の競争に勝てるようデジタルトランスフォーメーションやサステナビリティ等、新たな社会的取組を推進することにより他都市との差別化を図る。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ サステナビリティガイドラインを周知し、民間企業による持続可能なMICEコンテンツの開発を促進する。

様式1(主な取組)

活動指標名	MICE専門人材育成の講座・セミナー開催				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	24回	21回	27回	11回	6回	6回	100.0%	4,136	順調	ホテル、PCO、旅行会社、観光協会、観光事業者、各種サプライヤー、MICE関連団体等を対象に、MICE営業力強化に重点をおいた講座を計6回実施した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										ホテル、PCO、旅行会社、観光協会、観光事業者、各種サプライヤー、MICE関連団体等を対象に、MICE営業力強化に重点をおいた講座を計6回実施した。アンケート回答者の97%が、非常に良かった・良かったと回答しており人材育成に効果があった。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<p>・セミナーの受講を原則通年参加としたうえで、特定のテーマについて1年を通じて深掘りすることで、より確実なスキル向上を目指す。同時に、通年で受講することのハードルを下げるための工夫を行う。</p>						<p>・「MICE営業」に重点をおき、このテーマを深掘りすることができるような講座内容とした。オンラインとリアル開催を併用し、コロナ禍においても参加しやすいよう配慮した。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・MICEビジネスは産業の裾野が広く、M/I/C/Eの分野ごとにプレイヤーとなる事業者も異なることから、求められる人材も多種多様であり、セミナーテーマの統一感が弱く、受講者に係るターゲット設定が曖昧になってしまう。

○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症対の影響で、MICEの需要が減少している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・セミナーのテーマ設定に関して、オムニバス形式ではなく、特定のテーマについて1年を通じて深掘りするような形式とする。

4 取組の改善案 (Action)

・セミナーの受講を原則通年参加としたうえで、特定のテーマについて1年を通じて深掘りすることで、より確実なスキル向上を目指す。同時に、通年で受講することのハードルを下げるための工夫を行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興	施策	③ MICEに関わるプレイヤーの育成・確保
			施策の小項目名	OMICEプレイヤーの育成・高度化
主な取組	県民・学生等のMICE理解の促進			
対応する主な課題	③産学官連携やMICE施設間の連携による多種多様なMICEの受入体制を構築し、離島も含めた沖縄県全体でのMICE振興を図っていくことが重要である。特に、展示会・商談会の開催は県内産業の成長発展のために積極的に活用・推進する仕組みを構築することが課題となっている。 ④県内にはMICE専門の事業者が少なく、民間事業者もMICE専門の人材が不足していることから、MICE主催者の多様なニーズに対応できる幅広い専門人材の育成・確保が課題である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画					
		H29	H30	R元	R2	R3	
MICE振興の意義や地域にもたらすメリットについて住民理解を促す普及啓発活動を行うとともに、MICEによる社会的効果を創出するため、県民向け公開講座や地域・NPO等と連携した関連イベントの開催を主催者に働きかけ、住民によるMICE参加の機会提供に努める。		1回 イベント開催					→
実施主体	県、OCVB					県民向け普及イベントの開催	
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】						

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)		
予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業（細事業：受入体制整備（普及イベント開催促進））						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金（ソフト）	委託	17,320	8,731	6,263	1,533	11,500	—		OR3年度： R3年度開催予定の学会等において、市民講座等の開催を依頼した。 OR4年度： R4年度開催予定の学会等において、市民講座等の開催を働きかける。
予算事業名	観光誘致対策事業（MICE推進課）						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	17,320	8,731	6,263	1,533	3,840	300	県単等	OR3年度： 県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載した。 OR4年度： 県内紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載する。

様式1(主な取組)

活動指標名	県民向け普及イベントの開催				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	2回	2回	0回	1回	4回	1回	100.0%	15,340	順調	開催予定の学会等において市民講座等の開催を働きかけ、4回開催に至った。また県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案								反映状況		
<ul style="list-style-type: none"> 県内紙へ、記事広告や沖縄MICEネットワーク等の活動について取材してもらうなど、MICE関連記事を定期的に掲載する。 								<ul style="list-style-type: none"> 県内2紙に、県民向けMICE啓発記事を掲載した。 		



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・新型コロナウイルス感染症の影響が長引いていることから、住民の受入気運の低下が懸念される。

○外部環境の変化

・感染防止対策が全国的に進み、催事が開催され始めている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ MICE開催については安全・安心に開催できるよう主催者も注力していること、経済効果が高いことや教育的な波及効果等があることをなどを、県内等に掲載することにより県民に知ってもらう必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 県内紙等への記事広告や、県内マスコミに沖縄MICEネットワーク等の活動について取材してもらうなど、県民のMICE開催にかかる受入気運が醸成されるような広報を行う。